

## 【施設にあわせて舞台設定を行っています。】

（床に座る、車椅子、椅子と普段の生活に合わせた舞台設定をしています。また、会場も、施設内のフリースペース、製作部屋、ホール、とこちらもさまざまで、ワンルームの施設での公演実績もあります。公演時間も、昼食後の余暇の時間、デイサービスの下校後など、時間も施設のニーズに出来る限り沿うように設定しています。

ワンルームでも



寝そべっても



床&車椅子



いつもは食堂



普段は製作の部屋



吹き抜けのロビーも劇場に



### 【観劇中の反応は】

子どもたちの反応はとっても素直で直接的。冒険譚のストーリーを追いかける子、共鳴して踊ったり歌ったりする子、疑問をぶつてに来る子、小道具や楽器などお気に入りグッズを見つけてのめり込む子、本当に様々な感覚をぶつけて来ます。



I'm musician ♪



大丈夫？って舞台まで聞きに来てくれたり…



悪いやつは  
僕がやっ  
ける！



役者も観客も  
猫の国の住人たち



キラキラした瞳で突撃!!  
(このあと楽屋の小道具  
の布でひと泳ぎ♪)



でも、ワークショップリーダーの素養のある俳優たちは子どもたちの反応に寄り添いながら話を進めていけるのです



## 【体験を経て】

私たちを迎えたり、お礼の手紙をくれたり、演劇を通じて非日常から得られる社会的な体験をもたらします。観劇中もさることながら、終演後もそれぞれに抱いたものを私たちに投げ返してくれます。普段一緒にいる先生方も知らなかった一面も垣間見えたりします。



「今度私も一緒に出たい！」そういう彼女も観劇は初体験。劇場には足を運べていないのが現実



シンポジウムにて、当事者の青年も指文字で意見をくれました



終演後のふれあいタイム♪記念撮影したり、メッセージをくれたり演奏したり



お手紙を頂戴しました

